

7. 近畿（地域別調査機関：（株）大和銀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（社員）	・消費者ベースで動いているプロモーション形態を、ビジネスユーザーにも拡大して取り込むことで、大きな収益につながってくるとみている。
		その他レジャー施設 [球場]（企画担当）	・地元プロ野球球団が好調であり、優勝争いを演じており、8、9月はその効果で来場者数が増加すると見込まれる。
	やや良くなる	一般小売店[酒]（経営者）	・サッカーワールドカップの影響で来客数が減少しているが、それが戻ってくる。
		一般小売店[衣服]（経営者）	・デザイン、柄等工夫された商品が出てきて、景気も良くなる。
		百貨店（売場主任）	・レストラン街の改装オープンの定着と、9月以降の新装オープンを控えて、少しずつ上向いてくる。
		スーパー（店長）	・来客数の伸びが定着しつつあり、買上げ点数も若干ながら増加傾向が続いている。中元ギフトの平均単価も少し上昇しており、景気が良くなる前兆であるとの期待が大きい。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型がでてくるため、売上が上がり、社員の収入もよくなる。
		観光型旅館（経営者）	・サッカーワールドカップも済んで、夏に向かって、外に出ようという機運が高まってくると思われる。
		都市型ホテル（経営者）	・秋口の予約状況は前年並みを確保しており、今よりは良くなる。
		旅行代理店（店長）	・6月後半にかけて、サッカーワールドカップが終盤に向かうに伴い、パンフレットのはけ状況が通常に比べて上回ってきている。ヨーロッパ方面や国内のファミリー向け商品などの動きからみて、今後ややよくなると見込まれる。
		設計事務所（所長）	・ベイオフの関係で、銀行預金が土地に流れている。5千万から1億円の物件が売れており、それに伴って、建築も増え、景気がよくなる。
		その他住宅[情報誌]（編集者）	・民間銀行の住宅ローン商品が拡充されてきており、公庫制度の縮小以上に新築住宅の購入環境が良くなりつつある。
	変わらない	商店街（代表者）	・客の所得が上がる要因が見当たらないので、良くなる感じはしない。
		百貨店（売場主任）	・季節の変わり目で買い換え需要が発生する時期であるが、ヒット商品がない限り、急に客の購買意欲が上がるとは思えず、景気もこのまま変わらない。
		百貨店（売場主任）	・晩夏、初秋物の客の反応は悪くないため、クリアランス以降の季節の変わり目には、先物買いが起こる。ただし本格的なまとめ買いにつながるほどの勢いが出るとは考えにくい。
		百貨店（売場主任）	・消費が回復する起爆剤となるアイテムやヒット商品が見当たらず、このままの停滞が続くと思われる。
		百貨店（売場主任）	・秋口は秋物が若い人たちに売れるが、若い人の財布のひもが固く、慎重になっており、懸念される。
		スーパー（店長）	・若い客よりも40～60代以上の年配客が多く、これからの大幅な伸びは見込めない。
		スーパー（企画担当）	・来客数は増えているが、ボーナスがこの時期に集中しているため、この後の景気は若干不透明である。
		スーパー（広報担当）	・商品単価の下落はまだまだ続くと思うので、売上が上向くのはもう少し先だと思われる。
コンビニ（経営者）		・好転する材料も悪化する材料も見当たらない。	
家電量販店（経営者）		・景気が良くなるような要素は何もない。皆が持っていないようなもので、爆発的に売れるようなものが出ない限り、良くならない。	
家電量販店（企画担当）	・秋商戦も天候が不順では先がみえない。天候次第では売上が変化する。		
自動車備品販売店（従業員）	・依然として客の購買意欲の低迷は続く。夏商戦本番を迎え、この結果次第で直近の客の動向が把握できるが、購買単価、来客数とも増加がみられないだけに、かなり厳しい商戦を予測せざるを得ない。		
一般レストラン（スタッフ）	・外食産業は夏が暑ければよく売れるのが定説であるが、冷夏の予想であり、低位に推移している状況が急反転するとは考えにくく、変わらない。		
観光型ホテル（経営者）	・法人や各種会合の動きが引き続き悪く、良くなる兆候は今のところ見えない。		
観光型旅館（経営者）	・景気の良し悪しは都会と比較して少し遅れて到達するよう感じる。秋は本来動く月だが、出だしは難しそうである。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（支配人）	・法人部門の伸びは期待できないが、個人部門の伸びが期待できる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・今後、夏にかけて宿泊部門は好調に推移すると予想されるが、宴会部門の落ち込みが大きくなるためトータルとしてはあまり変わらない。
		旅行代理店（営業担当）	・官庁、大手企業のボーナス支給が始まっているにもかかわらず、受付数の上昇がみられない。夏休み需要も小型化し、テーマパーク利用だけが目立っている。
		タクシー会社（経営者）	・利用回数についても今以上に悪くなることはなく、今が底であり、良くなることはないが、現状維持が見込まれる。
		通信会社（経営者）	・今後、2、3か月以内に変化が現れる要因がない。
		観光名所（経理担当）	・夏場にイベント等で来客数を上げる努力をするが、前年度維持が精一杯だと考えている。
		その他レジャー施設 [イベントホール] （職員）	・これから先は時期的には忙しいときでもあり、催し物もつまっているが、相対的にイベント数が少なく、依然として厳しい状況が続く。
		その他レジャー施設（企画担当）	・レジャー業界においては、潜在的な消費意欲は感じられるが、今より景気がよくなっていくという気配を感じる材料はない。
やや悪くなる		その他サービス [学習塾] （経営者）	・夏期講習に向けての動向であるが、今ひとつ火がつかない様子である。
		その他サービス [クリーニング] （経営者）	・9月に入ると秋の繁忙期が立ち上がりを見せることとなるが、天候によっては多少のずれが起こりうる。 ・夏物衣料の家庭洗濯志向が、一部衣料品で根付いてきている。
		商店街（代表者）	・購買のマインドが冷えてきており、早急に回復するとは思えない。
		百貨店（売場主任）	・在庫調整、生産調整が継続していくものと思われ、小売の現場は苦戦する。
		百貨店（営業担当）	・バーゲン商材の季節になるが、取引先の施策変更により商材が不足しており、商品の確保が難しくなっている。
		乗用車販売店（営業担当）	・新車がでて、新車効果が長くもたない。単価も下がっており、購入するまでの時間も長く、苦しくなってくる。
		一般レストラン（経営者）	・サッカーワールドカップがもたらした来客数の減少を、どれだけ元にもどせるか予想できない。
		旅行代理店（営業担当）	・先行きの受注状況は国内旅行で前年並み、海外旅行で前年比80%台である。家族に人気のハワイが不調である。来客数が少なく、今後も期待できない。
悪くなる		タクシー運転手	・同一地域同一運賃でなくなり、単価にむらが出て、見通しは暗い。
		美容室（経営者）	・近くのスーパーが8月に閉鎖するが、その後が未定で、今後どうなるか不安である。
		商店街（代表者）	・売上の期待できる季節が不調で終わり、これからも低調な状況が続く。
		一般小売店 [時計] （経営者）	・来年医療費が上がるので、今年は治療に専念するという話が2、3件あり、商品の購買という面では悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・バーゲンの下見で来客数が増えるべきところ、逆に来客数が低迷しており、バーゲンの盛り上がりにも欠ければ7、8月は非常に厳しく、9月の秋物の立ち上がりも期待できない。
		衣料品専門店（経営者）	・サッカーワールドカップ等で過熱気味な消費があった反動が日常生活に表れ、一段と悪くなる。
		タクシー運転手	・規制緩和の認可料金がでているが、今後はいろいろな形態の認可がおりてくる。そのため価格競争が一段と激しくなり、見通しは暗い。
		タクシー運転手	・客が低価格、割引、高サ・ビスの会社を選ぶようになると、競争に残れないところは必然的に淘汰される。そうしたなか景気の良くなる材料は見当たらない。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・見積件数はやや増加しているが、2～3か月ではそこまで大きく変化しない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・今後、受注出荷増が見込まれている。
		輸送業（総務担当）	・新商品に活発な動きがある。
広告代理店（営業担当）	・サッカーワールドカップの景気の上向き加減が、このまま広告にも持続しそうな雰囲気が見られる。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	化学工業（経営者）	・4、5月は値動きがあり、上昇するかと思ったが、6月に入り減速した。今しばらく推移を見ないと良いとも悪いとも判断ができない。
		金属製品製造業（経営者）	・得意先であるゼネコン業界の動向次第であるが、官民ともに、設備投資が増加する傾向にない。
		金属製品製造業（経営者）	・景気が底打ちしたというものの、まだまだ中小、零細企業にはその感覚が伝わってきていない。中小、零細の底打ち感まではもう少しかかる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・当社が最近納品した装置の稼働が、3シフトの連続生産体制に入ったと聞いている。このように、一部の状況は良くなっているが、同じ会社の他の部門は、相変わらず成績不振を続けている。平均すると、景気は低空飛行であるが、水平、あるいはわずかに上昇方向にある。
		電機機械器具製造業（営業担当）	・納期が先の案件の予算見積件数に変化がない。
		金融業（支店長）	・リストラ効果により企業収益は確保されつつあるものの、それが借入返済等に充当され、新しい投資が低調である。
		司法書士	・今抱えている案件の中には、新規事業に結びつく可能性のある物もあり、期待しているが、量的に良くなったと感じるまでには至らない。
	やや悪くなる	その他サービス業〔イベント企画〕（経営者）	・新規案件は発生しているが、予算的にかなり厳しいものが多い。
		食料品製造業（従業員）	・BSE、不正添加物の使用などが毎日のようにでてきており、消費者の食品に対する疑心暗鬼、不信感が強く、全体として購買意欲が落ちてきている。
		繊維工業（経営者）	・3か月というスパンで考えると、今後、輸入品による圧迫が予想され、今の客の動きをみても好転する要素が全く見受けられない。
		繊維工業（団体職員）	・受注の回復の見込みが全くない。輸入品との競合に、更に拍車がかかり、採算割れを強いられる。
		金属製品製造業（営業担当）	・大手素材メーカーからの値上げ要求と、大手ユーザーからの値引き要求の間に挟まれ、採算は悪化する一方である。中小製造業は日本国内で存在することが不可能な状況になりつつある。
		建設業（経営者）	・今後の経済状況に明るい期待ができないため、設備投資も上向かず、民間関係の受注競争も厳しい状況が続く。公共工事も削減の方向にあり、期待できない。
		建設業（社員）	・公共工事、民間工事とも建築需要は縮小傾向にある。特に関西の景気が冷え込んでいることから、テナント需要も見込めず関西圏への投資を手控えられている。明るい話題がほとんどなく、更に厳しい状態が続くことが心配される。
	悪くなる	木材木製品製造業（経営者）	・取引先の焦げ付き発生の後処理に関連して、長期にわたって悪い状態が続く。
		不動産業（営業担当）	・破産物件や競売物件の件数が増えてきている。売物の物件が増え、まだまだ土地の値段が下がると思われる。
雇用関連	良くなる	-	-
		やや良くなる	人材派遣会社（経営者）
		人材派遣会社（社員）	・サービス業を主体として求人数、採用者数が増加している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人のメインターゲットである北区や中央区など大阪市内中心部の求人の動きに、若干だが回復傾向が見受けられる。特に中小企業においてその傾向が顕著にみられる。
		民間職業紹介機関（支社長）	・ここ2～3年間採用をストップしていた企業が採用を再開している。ニッチのオンリーワン企業や中国関連企業の採用意欲が高い。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・来春の新卒採用に対しても、各企業は採用人数を押さえるところが多い。 ・企業は景気変動を採用と直結させ、企業としては「優秀な学生を採用したい」ということで人材の取り合いは加熱している。内定出しは早期化し、募集は長期化している。
		職業安定所（職員）	・民間の倒産件数が再び増加しており、これを背景に求人が伸びない懸念もある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・雇用情勢の先行指標である新規求人数の伸び率が低下傾向にあるが、それにより不良債権処理が今後順調に進められることが見込まれる。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣会社による派遣料金の単価競争があり、これ以上低価格になれば賃金に反映されて悪くなる可能性もある。
		職業安定所（職員）	・管内企業の大規模なリストラが実行され、大幅に失業者が増加する。
	悪くなる	-	-